

出題傾向	年度	大問1	大問2	大問3	大問4
	29	☆小説-或る朝 志賀直哉 ・漢字の書き取り ・記述(心情把握) ・生徒議論(適語補充) ・適語補充 ・生徒議論(記述)	☆論説文-鷲谷いづみ ・漢字の読み取り ・記述(内容把握) ・抜き出し(適語補充) ・接続語の選択 ・図の説明 ・生徒議論(記述)	☆古文-「十訓抄」 ・記述(内容把握) ・現代仮名遣い ・記号選択(内容把握) ・生徒議論(内容把握)	☆作文-資料 ・家庭における災害への備えの状況 ・作文250字以内
	30	☆小説-白鳥 三島由紀夫 ・漢字の書き取り ・記述(心情把握) ・生徒議論(適語補充) ・適文選択 ・適文補充 ・生徒議論(記述)	☆論説文-「読む心・書く心」 ・熟語の構成 ・記述(内容把握) ・図の説明(適語補充) ・指示語の説明 ・段落の構成 ・生徒議論(記述)	☆古文-「沙石集」 ・選択(内容把握) ・現代仮名遣い ・空欄補充(内容把握) ・生徒議論(内容把握)	☆作文-資料 ・古典を学ぶ意義とは ・作文250字以内
	31	☆小説-我鬼 菊池寛 ・漢字の読み ・適語補充 ・記述(内容理解) ・熟語の構成 ・適文補充	☆論説文-雑草はなぜそこに生えているのか 稲垣栄洋 ・漢字の書き取り ・指示語の説明 ・図の説明(適語補充) ・接続語 ・記述(内容把握)	☆唐詩選 高木正一 ・書き下し文 ・適文補充 ・記述(内容把握) ・漢詩の種類	☆落語の噺 朗読 ・おもしろさの伝え方

出題予想	文学的文章(小説・随筆)	説明的文章(論説文)	古文	作文
出題傾向と対策	最近5年間は問題文の文字数3000字～3500字程度に生徒の会話500～700字程度が加わっています。時間配分に要注意です。また大正～昭和初期にかけての近代小説を題材とした出題が多く、語句の意味が読み取りにくくなっています。登場人物の心情の読み取りはかなり難しくなっているため動作・台詞から読み取る練習が必要です。記号選択問題は文章中にある答えもしくは答えとなる根拠を確認して、同じ内容が書いてあるものを選ぶという解き方をしましょう。記述問題については文章中の語句を使って文章をまとめる練習をしましょう。生徒同士による議論の流れに沿って意見を考える問題は記述量も多く求められているので注意が必要です。漢字の読み書きの問題は出題数が減り、内容理解に関する問題が増えています。最新傾向にしっかり対策しておきましょう。	論説文では、ここ数年出題文の字数が2000字程度と長くなっています。内容を図示した問題、表にまとめた問題も出題されています。50～80字程度の長い記述問題が多く出題されていますので、時間配分を意識した訓練が必要です。新傾向の問題に応じた過去5年分の問題を使って練習をしておきましょう。近年の記述問題は、答えが本文中に書いてあるものではなく、キーワードを文又は段落全体から探し形式や字数に合わせてまとめて答える形式になっています。昨年は段落内容の要点をまとめる問題が出題されました。接続語の使い方、言語事項の知識、コミュニケーション能力、長文読解力、表現力など幅広く国語の総合力が問われます。過去問などを利用し、できる限り新傾向に合わせた対策をし、時間配分に気をつけて練習してください。	昨年は漢文を含む問題が出題されました。ただ書き下し文に関する問題1題程度の比較的易しい問題ですので、漢文の基礎的な復習を必ずしておきましょう。古文は20行程度と少し長めの出題文となっています。歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題は毎年出題されています。「傍線部をすべて平仮名に直して……」「傍線部の平仮名の部分だけ……」「傍線部を……」きちんと出題形式に合わせて答える練習をしておきましょう。古文を読んで意味が読み取りにくいという場合は、設問を読みながら全体を理解するようにしましょう。鑑賞文や資料などを含めて出題されることが予想されます。全体的に文章量が多くなっているため気をつけてください。熟語の構成、掛詞、枕詞などの言語事項も要チェックです。	近年は250字以内の作文の出題が定着しています。新聞の投書や国語の学習時間における生徒の話し合いといったテーマで、これまでのグラフや図と異なります。読む文章の文字数が多くなっているので要注意です。出題される資料も複数あります。また条件に従って作文しなければなりませんので、その時間配分は十分考慮しておきましょう。過去問や模擬試験など新傾向問題を時間内に解く訓練が必要です。作文は厳密な採点基準による採点が難しいと思います。字の丁寧さ、大きさ、濃さ、文章の構成、要旨などを意識しながら練習しましょう。書く技術は公立高校選抜Ⅰ試験の小論文に限らず、選抜Ⅱの国語やその他の科目にもますます必要になりました。自己採点が難しいポイントです。採点者の着眼点を考えて記述訓練が必要です。

出題傾向	年度	大問1	大問2	大問3	大問4	大問5	大問6	大問7	大問8
	27	○数・式の計算	○平面図形(角度) ○反比例(値) ○確率(カード)	○平面図形(角の大きさ) ○空間図形(回転体の体積) ○平面図形(線分) ○文字式(説明)	○関数 ・ダイアグラム	○統計 ・標本調査	○2次関数 ・変域 ・座標	○三角形・四角形 ・合同の証明	
	28	○数・式の計算	○式の値 ○空間図形(平行) ○反比例(立式) ○統計(最頻値)	○空間図形(体積) ○確率(さいころ) ○2次関数(変化の割合)	○関数 ○文字式(説明) ○関数(グラフ)	○平面図形 ・作図 ・直角の作り方(説明)	○2次関数 ・比の値 ・値の変化(説明)	○1次関数 ・座標 ・面積分割	○三角形・四角形 ・内接四角形の証明
	29	○数・式の計算 ○1次関数(グラフ) ○統計(中央値) ○平方根(無理数)	○平面図形(角度) ○1次関数 ○空間図形(ねじれの位置) ○標本調査	○方程式 ○確率(カード) ○文字式(説明)	○平面図形 ・三平方の定理(説明) ・面積	○2次関数 ・立式 ・線分の長さ	○反比例 ・座標 ・三角形の面積	○三角形・四角形 ・合同の証明	
	30	○数・式の計算 ○方程式 ○関数 ○平面・空間図形 ○近似値	○確率 ○比例 ○文字式(説明)	○平面図形	○1次関数	○2次関数 ・線分の長さ ・直線の式	○円 ・角の大きさの証明		
	31	○数・式の計算 ○空間図形 ○平面図形 ○反比例 ○確率	○平面図形(角度) ○2次関数 ○統計	○2次方程式 ○平方根	○三角形・四角形 ・平行四辺形の証明 ・ひし形の条件	○平面図形 ・三平方の定理	○1次関数 ・座標 ・格子点		

出題予想	○数・式の計算 ○関数・図形・統計 (基本問題)			・関数 ・方程式 ・確率	・平面図形 ・統計 各単元から1題ずつ	・空間図形 ・数の性質	○関数・数量関係 ○平面・空間図形 ○統計	○三角形・四角形・円 ・合同または相似	ここ数年、長文による問題が出題されています。問題文をよく読み、題意を正確に読み取る必要があります。難易度はそれほど高くありませんが、題意を読み取れず不正解になるケースも多いようです。過去問などを利用し、長文の問題になれておきましょう。	
出題傾向と対策	<p>27年度から計算問題が8題から4題に減りましたが、ここをミスなく得点することが重要です。式の計算・連立方程式・平方根・2次方程式を中心に、基本的な問題を正確に解けるよう練習しておきましょう。また、教科書レベルの基本的な内容が中学数学全般から出題されます。ただ、文字式を利用して説明する問題がよく出題され、受験生にとっては解きにくい問題となっているようです。教科書の例題等を確認し、表現方法に慣れておきましょう。確率・統計・平面図形の角度の問題は、比較的得点しやすいので、基本問題を中心に練習しておきましょう。また、数の性質に関する問題が出題されることもあります。参考書や問題集を利用し、いろいろな問題にあたり、題意を正確に読み取る練習をしておきましょう。</p>						<p>関数においては、立式、座標、線分の長さ、面積に関する出題がされることが多いので、比例・反比例を含め、関数の基本をマスターしておきましょう。図形との融合問題もよく出題されるので、図形の基本的性質も押さえておきましょう。図形分野では、作図方法の説明が出題されることがあります。単に作図するだけではなく、その方法を説明できるように練習しておきましょう。統計に関する基本的な問題も復習しておいてください。</p>		<p>円に関する定理・三角形、四角形の性質・合同、相似条件をまとめ、証明に慣れておきましょう。</p>	
<p>数学はここ数年、難問が減り、基本問題～標準問題が中心になっています。ポイントは、大問1の計算問題と、各大問の基本問題です。難しい問題に時間をかけるより、基本問題にしっかり時間をかけ確実に得点できるようにしましょう。</p>										

過去問題から傾向を探る	年度	大問1	英語聞き取り検査	大問2	図表などを用いての対話文	大問3	長文読解	大問4	日常生活のコミュニケーション
	29	A 短い対話が4問あり、それぞれの質問に対して、答えを4択から選ぶ。 B 80語程度の英文が放送されその内容に関してあなたの考えをまとめる。空欄に適語を補充して英文を完成させる形式での出題。		1 適語(数字)選択 2 適文選択 3 自分の意見を英文で書く 4 適語補充 5 指示代名詞が指す内容を日本語で書く 6 会話文の空欄に合う英文を作る		1 英問英答 2 適語補充 3 筆者の感情が生じた理由を日本語で書く 4 内容と一致する英文を選択 5 質問に対する自分の考えを英文で書く		送信されたメールについて、資料として掲載されている写真とタイムテーブルを参考に返信する内容を英文で書く	
	30	A 短い対話が4問あり、それぞれの質問に対して、答えを4択から選ぶ。 B 80語程度の英文が放送されその内容に関してあなたの考えをまとめる。空欄に適語を補充して英文を完成させる形式での出題。		1 適語(数字)補充 2 指示語の指す内容を日本語で答える 3 指示語の指す内容の英文選択 4 適文選択 5 適語を補充して英文を完成		1 英問英答 2 空欄の適語補充選択問題 3 筆者の感情が生じた理由を日本語で書く 4 語群整理問題 5 長文の空欄への適文補充 6 内容一致問題 7 会話の内容に合う内容になるような英作文		プレゼンテーション内容をまとめるための原稿を英文で作成する	
	31	A 短い対話が4問あり、それぞれの質問に対して答えを4択から選ぶ B 80語程度の英文が流れ、その内容に関してあなたの考えをまとめる。		1 下線部の内容に適する文を選択して答える 2 グラフを見て該当する数字を答える 3 空所への適語補充 4 議題内容の要約文の空欄に適語を補充 5 自分の意見を英文で書く		1 英問英答 2 語群整理 3 下線部の具体的内容選択 4 適文補充 5 内容一致問題 6 質問に対する自分の意見を英文で書く		送信されたメールに、資料として掲載されているものを参考に返信する内容を英文で書く	

出題予想	英語聞き取り検査	図表などを用いての対話文	長文読解	コミュニケーション
出題傾向と対策	A 放送される問題は比較的短いものと予想されるので、与えられた選択肢を確認の上、質問内容をある程度予測し準備する事が必要。メモは極力取らずに聞くことに集中すべし B 質問に対し英文で答える問題。難しい英文や必要以上に長い英文を書こうとせず、シンプルな構文を使って自分が自信のある(スペルミスがない)単語をできる限り使ってミスを防ぐ事に全力を傾けることが大事	1 指示代名詞の内容を答える問題 2 グラフを見て本文中の空欄に適する数字を入れる問題 3 空所への適語・適文を入れる問題 4 対話を要約した文に適語、適文を入れる問題 5 対話の内容に関して自分の意見を英文で書く問題	1 英問英答問題 2 日本語の質問に日本語で答える問題 3 英文の中にある4つの空欄に適する英文を補充する問題 4 内容一致問題 5 語群整理問題 6 英文に即した内容に関して自分の意見を英語で書く問題	電子メールに対する返答としての確かな返事を英文で書く問題
	<ul style="list-style-type: none"> ☆リスニングは必ず事前に選択肢を確認する事。選択肢を確認することで、放送のどの部分を聞いておけばよいかは絶対に分かる ☆英作文は減点法ですので、できるだけシンプルな構文で難しい綴りの単語を用いず、長文等で出てくる表現を利用して、ミスのない事を徹底して心がけること ☆長文読解をする上で、単語が分からないのが一番の問題となるので、中学3年間で習った単語でまだ覚えきれていないものを徹底して覚え直すこと ☆英問英答や内容一致問題、指示代名詞が指す内容を答える問題は出題される可能性が高いので、このパターンは繰り返し訓練して、必ず答えを導けるようにしておくこと 			

年度	物理			化学			生物			地学		
	光・音・熱・力	電流とその性質	運動とエネルギー	物質の変化	化学変化と原子	物質とイオン	植物の生活と種類	動物の生活と種類	生物のつながり	地球と太陽系	天気とその変化	大地の変化
26	○光 ●屈折角の性質 ●全反射の記述 ●反射 ●反射の像				○分解 ●炭素の原子記号 ●炭酸水素ナトリウムの分解 ●原子モデル ●単体の記述		○植物の分類 ●コケ・シダ植物の特徴 ●被子植物の特徴 ●光合成のはたらき	○動物の分類 ●哺乳類の特徴 ●相同器官と進化	○食物連鎖 ●生産者 ●有機物・無機物の流れ ●化石燃料 ●分解者の実験	○天体 ●衛星 ●月の満ち欠け ●金星の満ち欠け		
27		◎電磁誘導 ◎消費電力	○力と仕事 ●力のつり合い ●仕事(動滑車) ●仕事の原理 ◎熱の伝わり方 ◎移り変わり	○水溶液 ●溶質・溶媒 ●溶解度 ●溶解度の計算		●イオン		○ヒトのはたらき ●消化のはたらき ●消化の対照実験 ●排泄系				○堆積岩・火成岩 ●風化 ●堆積岩の特徴 ●等粒状組織 ●岩石の種類
28	○力のはたらき ●グラフの作図 ●浮力の実験考察 ●重さと質量			●溶質・溶媒の計算	○化学変化 ●発熱反応 ●実験比較 ●実験考察		●植物の分類 ●顕微鏡の性質		○減数分裂 ●成長のしくみ ●観察考察	○天体 ●日周運動 ●太陽の影の動き ●各季節による角度 ●各季節による熱量 ●グラフの読み取り		
29	○光のはたらき ●光の性質 ●焦点の作図 ●焦点距離を求める ●虚像 ●像の大きさ ●音の伝わり	●回路図		●有機物		○イオン ●化学電池の電極 ●酸性の性質 ●化学電池の選択 ●実験考察	●胚珠		○遺伝 ●無性生殖の特徴 ●遺伝のしくみ ●遺伝子の変化 ●観察考察	○天気 ●天気記号 ●湿度の計算 ●乾湿計の問題 ●対照実験		
30			○運動・力 ●分力の作図 ●力のつり合い ●実験考察 ●力がはたらく運動 ●力学的エネルギー	○気体の発生 ●気体の集め方 ●実験考察	●燃焼の説明 ●化学変化の説明 ●化学反応式のモデル図			○人体とはたらき ●神経の反応 ●感覚器官 ●観察考察	●生産者のはたらき			○地震 ●震度の説明 ●地震計のしくみ ●地震波の速さ計算 ●観察考察 ●プレート動き
31		○電流と磁界 ●電磁誘導の記述 ●検流計の動き方 ●実験考察 ●電流の正体		○状態変化 ●蒸留 ●実験考察 ●蒸留の記述 ●状態変化のモデル ●質量パーセント濃度	●有機物の原子記号		○植物 ●シダ植物の特徴 ●被子植物の分類 ●観察考察		○天体 ●恒星 ●金星の見え方 ●木星型惑星説明 ●金星・火星の位置 ●年周運動の計算			

○:大問としての出題 ●:小問としての出題 ◎:総合問題としての出題

分野別出題傾向	物理分野	化学分野	生物分野	地学分野
分野別出題傾向	力学・電流・磁界の単元から、計算問題が非常に多く出題されやすい傾向があります。また、グラフや表を読みとったうえで、その数値をもとに解いていくパターンが多いので、幅広い計算力が重要になります。電流のグラフや図を書かせる問題も出題されやすいところです。	物質の変化、化学変化ともに1つの実験を通して出題されることが多いようです。化学式や化学反応式などはもちろんのこと、実験時の手順や器具、操作上の留意点などを問う問題が出題されやすくなります。また、計算問題や文章で答える問題も出題されやすいのが特徴です。	観察・実験を通して出題されるパターンが非常に多いようです。内容としては、語句など基礎的な知識を問われる問題から、観察の仕方や実験内容について文章で答える問題まで、幅広く出題される傾向があります。	図・表・グラフなどを読みとって答える問題が出題されています。そのため、丸暗記ではなく、系統だった理解が必要となっています。受験生が苦手とする単元がそろっているため、この分野の克服が高得点のポイントになります。
対策	計算問題に備えて、公式の暗記や繰り返しの問題演習が必要ですが、それ以上に、法則や原理の理解が大事になります。図やグラフの読みとり、また、単位や作図については、よく確認しておきましょう。	教科書に載っている実験は、一通り、目を通しておいた方が良いでしょう。暗記しなければならない部分も多いですが、全体的な関連性を忘れないようにしてください。実験器具操作の留意点は特に注意しましょう。	植物・動物・生物のつながりの各単元を分類したり、実験の手順や結果を一つずつ暗記していくことが大切です。問題で答える問題も出されやすいので、実験手順や結果などの整理が必要です。	図を書いて整理していける内容が多いので、学習したことを自分なりにまとめてみましょう。自分の問題点を明確にすることにもつながります。自分なりにポイントを絞ることも大切です。
ポイント単元	光・音・力、運動と仕事	化学変化、イオン	食物連鎖・遺伝、人体のはたらき	火山・地層、天気

	年度	歴史	地理		公民				論述
			世界地理	日本地理	日本国憲法	政治	経済	国際	
出題傾向	25	年表	鉱産資源	経線・気候・産業 地形図・公害		内閣・裁判所 地方分権	独占 社会保障	NAFTA	5題
	26	年表		地形図		国会・内閣	為替 社会保障	ECの貿易	5題
	27	並べ替え(カード)	正距方位図法 貿易・資源	九州地方 資源と輸入 人口ピラミッド	女性と仕事	地方交付税 直接請求権	消費支出	環境	8題
	28	対話文+資料	国の位置・食料生産・貿易・漁業			国債 地方財政	為替・財政	宗教	13題
	29	対話文+資料	国土の特徴・降水量・川・災害対策		国民投票	国債 地方財政	家計・企業		17題
	30	時代区分(カード)	産業別人口・貿易・時差・過疎		効率		消費生活		16題
	31	時代区分(カード)	東北地方の産業と取り組み・海流・地形		異文化交流			国際連合	13題

出題予想	歴史	世界地理	日本地理	効率と公正	国会・内閣	家計・企業	国連・EU	15題
出題傾向と対策	大問2で各時代から記述形式の問題が中心の出題、大問4でも出題が続いております。資料を読み取って理由を答える問題、対話文の中から説明する問題が出題されます。いずれも歴史的な背景が知識として備わっていれば書きやすいと思われます。各時代の出来事が説明できるようにしておきましょう。	昨年度は大問1で東北地方の産業を中心に思考力を問う問題が出題されました。大問4の融合問題では外国人留学生を題材に国内総生産を問う問題が出されています。近年、世界や日本のある地域を通してグローバルな視点で、様々な事象を問う問題、産業・自然環境・地形に関する問題が出題されています。地理に関して、一つの産業にフォーカスして、そこから関連した出題が幅広く問われるという形式が続いています。また、ある事象を調べるためにはどんな資料が必要かを問う問題パターンが増えています。日頃から統計資料が何を示すためのものかを意識し、それを論述できる力を養成する学習が必要となっています。	昨年度、大問3は国際連合を中心に、現在、世界で食糧不足に直面している地域を援助するための方策を問うなど、3題の記述問題が出題されました。この範囲は中学校で学年末テストが終わってから学ぶ範囲になるので、学習量が少なくなっており、難易度が低い問題でも正答率が低くなっています。過去の入試問題も、2学期末から3学期に学習する経済分野からの出題も多くなっています。受験対策として公民後半の範囲を確実に理解していくよう学習量を増やしていきましょう。大問4の融合問題では、外国人留学生の苦勞を解消するための施策を具体的に問う出題でした。現代の社会で起こっていることについて、日頃から関心を持ち、どのように解決するかを考える習慣を身につけていきましょう。	昨年度は記述問題が減少しましたが、内容は暗記系ではなく、事象を理解して説明できる力が必要とされています。必要なことを簡潔にまとめていく練習をしていきましょう。				